

ようこそ 文武両道の

東京都教育委員会

スーパーアクティブスクール

足立区立第九中学校へ



キュウちゃん
創立70周年マスコット
キャラクターデザイン
〔生徒作品〕

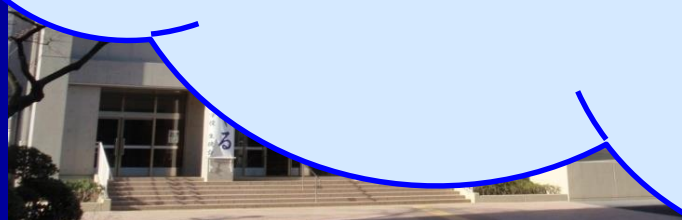
ようこそ 文武両道の

東京新大塚

ス



教育は、
心身ともに健康で自ら未来
を切り拓く力のある次代の形成
者を育成し、
未来の社会をつくるもっとも
重要な活動であると私は考える。



うちゃん

少年マスコット
キャラクターデザイン
〔生徒作品〕

子どもの成長を支える環境

「学校・家庭・地域の連携・協力」

連携

学 校

規律を重んじ、自ら
学ぶ意欲を高める場

協力

家 庭

生活習慣の確立や
自立心を育てる場

地 域

安心して様々な
体験ができる場

現在の教育課題

学力向上

全国学力・学習状況調査結果から

豊かな人間性の育成

道徳授業地区公開講座から

体力向上

全国体力・運動習慣調査結果から

全国学力・学習状況調査結果から見た今後の取組の方向性について

学力は、基本的生活習慣と健全な心、意欲的な生き方で高まります。(対象：小学生約4,500人、中学生約3,500人)

朝食を食べていますか

小学校第6学年

	国語A	国語B	算数A	算数B
1	76.1	60.0	81.3	63.2
2	66.4	48.3	71.5	50.6
3	59.9	44.2	66.8	45.9
4	53.0	34.9	57.7	38.7

中学校第3学年

	国語A	国語B	数学A	数学B
1	80.9	52.9	69.9	64.1
2	76.2	47.9	61.5	55.8
3	71.1	42.4	55.1	47.8
4	68.8	37.0	49.6	46.3

自分にはよいところがあると思いますか

小学校第6学年

	国語A	国語B	算数A	算数B
1	76.3	59.9	81.9	64.4
2	75.5	60.3	80.9	62.5
3	71.5	54.9	76.5	57.9
4	68.7	48.9	72.9	51.0

中学校第3学年

	国語A	国語B	数学A	数学B
1	79.1	50.9	68.1	62.3
2	81.2	53.3	69.9	64.6
3	78.6	50.1	66.0	59.5
4	76.2	47.3	61.3	54.8

学校の規則を守っていますか

小学校第6学年

	国語A	国語B	算数A	算数B
1	77.3	62.4	82.2	64.5
2	74.8	58.4	80.0	61.9
3	66.5	48.1	72.9	51.6
4	62.1	38.5	71.6	43.7

中学校第3学年

	国語A	国語B	数学A	数学B
1	81.8	54.6	71.0	65.7
2	78.4	49.0	65.5	59.5
3	69.9	40.6	55.3	46.6
4	62.3	29.2	45.6	34.1

本調査の結果から、学力が高い子供には、次の傾向があります。

- 正しいリズムで生活していること
- 自分のよさを知ること、規範意識が高いこと
- 目標に向かって地道な努力ができること
- 身の回りの出来事に関心をもっていること

学力を高めるためには、学習意欲や学習習慣とともに、基本的生活習慣の確立や規範意識を高めること、思いやりの心や社会貢献の精神などを育成することが大切です。

学校、家庭及び地域が連携し、子供の未来の可能性を信じ、継続的に取り組んでいけば、子供は期待に応えてくれると考えます。

家で学校の宿題をしていますか

小学校第6学年

	国語A	国語B	算数A	算数B
1	76.6	61.2	81.9	64.0
2	67.0	47.9	72.4	51.8
3	59.3	36.3	65.0	43.7
4	53.8	25.6	56.0	30.0

中学校第3学年

	国語A	国語B	数学A	数学B
1	82.7	54.7	71.7	66.1
2	76.4	47.5	62.8	57.0
3	72.4	44.8	59.7	52.7
4	67.5	39.2	55.4	48.3

地域や社会で起きている問題や出来事に関心がありますか

小学校第6学年

	国語A	国語B	算数A	算数B
1	81.3	66.0	85.6	70.0
2	75.8	60.4	81.2	63.1
3	69.5	52.4	75.6	55.4
4	63.4	43.7	69.0	45.8

中学校第3学年

	国語A	国語B	数学A	数学B
1	83.4	57.3	71.5	67.1
2	81.5	53.3	69.7	64.5
3	78.1	49.3	66.6	59.8
4	72.3	42.6	59.7	52.2

学校の授業以外に普段どのくらいの時間勉強しますか

小学校第6学年

	国語A	国語B	算数A	算数B
3時間以上	85.1	70.0	89.4	74.4
2時間以上	75.5	60.0	81.4	62.2
1時間以上	72.4	56.0	78.0	58.7
30分以上	69.9	53.6	76.2	56.8
30分以下	65.2	46.8	69.7	48.1
全くしない	58.3	36.1	62.3	40.7

中学校第3学年

	国語A	国語B	数学A	数学B
3時間以上	82.6	55.5	75.1	68.4
2時間以上	82.7	54.6	72.5	65.8
1時間以上	80.0	51.2	68.2	62.4
30分以上	76.7	49.7	63.2	57.9
30分以下	75.1	46.1	60.5	56.2
全くしない	73.6	44.6	55.0	51.1

普段どれくらいの時間、テレビゲーム(コンピュータ、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームを含む)

小学校第6学年

	国語A	国語B	算数A	算数B
4時間以上	65.3	46.1	70.3	48.6
3時間以上	65.7	48.8	73.9	53.0
2時間以上	69.6	52.6	76.4	56.0
1時間以上	73.8	57.4	79.2	60.6
1時間以下	78.0	62.6	82.6	65.6
全くしない	82.3	67.1	86.6	70.0

中学校第3学年

	国語A	国語B	数学A	数学B
4時間以上	73.0	42.6	58.3	51.6
3時間以上	75.3	45.8	63.0	57.3
2時間以上	76.8	47.3	65.6	59.1
1時間以上	81.0	53.8	70.5	65.1
1時間以下	83.1	55.3	71.3	66.1
全くしない	83.7	58.2	72.4	66.6

(注) 表中の 1 は「当てはまる」、
2 は「どちらかという当てはまる」、
3 は「あまり当てはまらない」、
4 は「当てはまらない」を意味しています。

足立区立第九中学校の学力向上の総合方策について

基本的な考え方

- 生徒の意欲の向上
- 教員の授業力向上
- 学習習慣の確立
- 区民の意識の向上

学校の特色を生かした日常的な取組の充実
家庭や地域との連携・協働の強化

学力向上

やる気・やれる気・根気(体力、豊かな心)
正しい生活リズムの確立
生徒を取り巻く環境の改善・充実

教科等の楽しさ

学習習慣の確立

学び方等の理解

自尊感情・自己肯定感

授業改善

意欲あふれる授業

導入の工夫、教材の工夫、
アクティブ・ラーニング など

小中一貫教育の視点

系統性がある体系化した指導
情報交流と協働の指導 など

学習環境の整備

ICT等施設・設備の充実
学習指導補助員等の導入 など

教員の授業力向上

教材研究、OJTの充実
教員研修の充実

学校の取組

主体的な学びの場づくり

教え合い教室等の実施、
英検、漢検、数検等の奨励など

学習コンテスト等

学習コンテストの仕組みづくり
優秀者表彰等意欲の喚起 など

補充教室、サマースクール

学習の場の確保、できる喜び
個に応じた指導の徹底 など

家庭学習の啓発

三者面談、リーフレット等、
学習点検、保護者の意識向上など

心と体の育成

豊かな心の育成

規範意識、物事への関心・意欲
受け入れる素直な心 など

体力向上

活力ある行動、粘り強さ
困難を乗り越える意志 など

食育の推進

バランスのよい食事で健康な体、
感謝の心、文化の理解 など

挨拶やマナー、貢献活動

ボランティア精神、役割と責任
家庭や地域の一員の自覚 など

生活習慣の確立

早寝・早起き・朝ごはん

十分な睡眠、脳の活性化、
心身の成長促進 など

休養・栄養・勉強・運動

心身の基礎づくり、生活リズム
節度ある生活 など

太陽の光を浴びる

脳のリセット効果、
穏やかな心の育成 など

スマホ等を控えめに

目の健康、時間の有効利用、
様々なトラブル防止 など

現状把握

生徒：基礎学力や学習意欲の二極化、生活習慣・学習習慣の未確立、
学校：授業力向上の停滞、多忙感増加
家庭：教育力の低下(二極化)、学力に関する意識に課題

足立区の施策

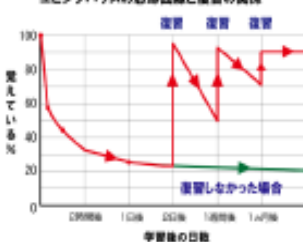
区学力調査、教科指導専門員、補習教室、
中1夏季勉強合宿、中学生補習講座、無料学習会、貧困の連鎖を断つ取組 など

国や都の施策

全国・東京都の学力等調査、授業改善(アクティブ・ラーニング等)、東京ミニマム、東京ベーシックドリル
家庭の教育力支援、生活習慣の確立

学習に関する理論

エビングハウスの忘却曲線と復習の関係



教育基本法

【教育の目的】(第1条)

人格の完成を目指し、平和で民主的な国家及び社会の形成者として必要な資質を備えた心身ともに健康な国民の育成を期して行われなければならない。

【学校教育】(第6条)

教育の目標が達成されるよう、教育を受ける者の心身の発達に応じて、体系的な教育が組織的に行われなければならない。この場合において、教育を受ける者が、学校生活を営む上で必要な規律を重んずるとともに、自ら進んで学習に取り組む意欲を高めることを重視して行われなければならない。

【教員】(第9条) 18新設

自己の崇高な使命を深く自覚し、絶えず研究と修養に励み、その職責の遂行に努めなければならない。

【家庭教育】(第10条) 18新設

保護者は、子の教育について、生活に必要な習慣を身に付けさせるとともに、自立心を育成し、心身の調和のとれた発達を図るよう努めるものとする。

【幼児教育】(第11条) 18新設

幼児期の教育は、生涯にわたる人格形成の基礎を培う重要なものであることにかんがみ、国及び地方公共団体は、幼児の健やかな成長に資する良好な環境の整備その他適当な方法によって、その振興に努めなければならない。

【学校、家庭及び地域住民等の相互の連携協力】(第13条) 18新設

学校、家庭及び地域住民その他の関係者は、教育におけるそれぞれの役割と責任を自覚するとともに、相互の連携及び協力に努めるものとする。

学校教育法

【学校教育の目的】(第30条の2 参考)

生涯にわたる学習する基盤が培われるように、①基礎的な知識及び技能の習得、②思考力、判断力、表現力等をはぐくみ、③主体的に学習に取り組む態度を養う。

新:育成を目指す資質・能力の3つの柱

どのように社会・世界と関わり、
より良い人生を送るか

**主体性・多様性・協働性
人間性・学びに向かう力等**

**アクティブ・ラーニング
学習評価の充実
カリキュラム・マネジメントの充実**

何を知っているか、
何ができるか

個別の知識・技能

知っていること・できる
ことをどう使うか

**思考力・判断力・
表現力等**

5つの課題

○「生きる力」に関する周知・
徹底の不十分

○子供の自主性を尊重し、
教員が指導を躊躇

○知識・技能が探究活動に
つながりにくい

知識・技能を活用する学習
時間の不足

家庭や地域の教育力低下
と踏まえた対応が不十分

育成を目指す資質・能力の3つの柱

いわゆる
アクティブ・ラーニング

深い学び

対話的な学び

主体的な学び

3つの柱

主体性・人間性・
学びに向かう力等

知っている・できる等の
知識・技能

知識・技術をどう使うか等の
思考・判断・表現力等

課題発見

興味や関心をもつ
ねらいを把握する
情報を収集する

解決方法

見通しをもつ
方法を考える
情報交換をする

身に付ける

知識や技能
礼儀・マナー、社会性
コミュニケーション能力

課題解決

知識や技能の活用
グループでの討論
構造化 まとめ

主体的な 学び

自分と結
びつける

粘り強く
取り組む

振り返っ
て自覚

見通し
をもつ

興味や
関心

知識・技能を
構造化する

知識・技能を
習得・活用する

目指す
資質・能力
の育成

深い学び

思考し解決
に向かう

解決方法
を見出す

課題を
発見する

共に考えを
創り上げる

共に課題を
解決する

多様な手段
で表現する

多様な情報
を収集する

対話的な 学び

学校・家庭・地域の協働による「心の教育」の重要性

平成29年11月11日

足立区立第九中学校長
長塚 琢磨

子どもを取り巻く素敵な環境 (会・合・愛)

【学校教育】

教育の目標が達成されるよう、教育を受ける者の心身の発達に応じて、体系的な教育が組織的に行われなければならない。この場合において、教育を受ける者が、学校生活を営む上で必要な規律を重んずるとともに、自ら進んで学習に取り組む意欲を高めることを重視して行われなければならない。

(教育基本法 第6条)

【家庭教育】

保護者は、子の教育について、生活に必要な習慣を身に付けさせるとともに、自立心を育成し、心身の調和のとれた発達を図るよう努めるものとする。

(教育基本法 第10条)

道徳教育で指導する内容とは？

- 1 主として自分自身に関すること
・ 自主、自律、節度、向上心、希望と勇気、創造 など
- 2 主として他の人との関わりに関すること
・ 思いやり、感謝、礼儀、友情、信頼、寛容 など
- 3 主として集団や社会との関わりに関すること
・ 約束、社会正義、勤労、役割と責任、国際貢献 など
- 4 主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること
・ 生命尊重、自然愛護、感動、よりよく生きる喜び など

【道徳教育のポイント例】

カ 感動、葛藤、考える
キ 共感、協力、共同
ク 苦勞、繰り返し
ケ 経験、継続、検討
コ 克服、肯定感

【教育の目的】

人格の完成を目指し、平和で民主的な国家及び社会の形成者として必要な資質を備えた心身ともに健康な国民の育成を期して行われなければならない。

(教育基本法 第1条)

みんなで
「素敵な人間に育てよう」

高校等

中学校

小学校

保育園・幼稚園

【幼児教育】

幼児期の教育は、生涯にわたる人格形成の基礎を培う重要なものであることにかんがみ、国及び地方公共団体は、幼児の健やかな成長に資する良好な環境の整備その他適当な方法によって、その振興に努めなければならない。

(教育基本法 第11条)

【学校、家庭及び地域住民等の相互の連携協力】

学校、家庭及び地域住民その他の関係者は、教育におけるそれぞれの役割と責任を自覚するとともに、相互の連携及び協力に努めるものとする。

(教育基本法 第13条)

朝の光で脳をリセット



視交叉上核 体内時計がある。体内リズムの発源地。睡眠と覚醒、体温、ホルモンの分泌リズムなどに関与する。

褒める・叱る

キーワード「積極的な関わり」

「よい」「いけない」明確化

- ・ 小さい頃(小さい事)から善悪の判断をできるようにする。
- ・ 人のために役立つことは褒め、人に迷惑をかけることは叱るように明確にする。

行動と資質や能力を褒めよう

- ・ よいことは資質や能力を含めて褒めよう。
- ・ よくないことはその行動だけを叱ろう。

※ 子どもの発達の段階を踏まえた関わり方が重要です。

コミュニケーション

キーワード

「オアシスにほうれんそう」

- オ おはようございます
ア ありがとうございます
シ 失礼します
ス すみませんでした
に ニコニコの笑顔
ホウ 「報告する」
レン 「連絡する」
ソウ 「相談する」



第九中学校における総合的ないじめ防止対策について(概要)

学校教育目標

人間尊重の精神を基盤に自ら学ぶ意欲をもち、社会の変化に主体的に対応し、国際社会で活躍できる知・徳・体の調和のとれた人間性豊かな生徒を育成する

- 生徒行動指針「磨く」「挑む」「思いやる」
- 教師指導指針「優しく厳しく」「組織で当たる」

学校等の現状

- 部活動が盛んで優秀な実績
- 元気のよい挨拶、行事が熱い
- 毎年40を超える小学校から入学
- 都教育委員会スーパーアクティブスクール
- △ 体力や学力の二極化傾向

いじめのない明るい社会づくり

- ◆ 明るく活力のある学校生活(意欲、元気、人間関係)
- ◆ 生きる喜び体験(努力と達成、社会貢献等)の推進
- ◆ 自主・自立の力の育成、自ら未来を切り拓く力の育成
- ◆ 「第九中学校いじめ防止基本方針」を踏まえた取組

実現に向けた5つの柱

社会の動向等

求められる人間像

豊かな創造性を備えた持続可能な社会の創り手
(知識・技能、思考力・判断力・表現力等、学びに向かう力・人間性)

法や学習指導要領等

- 教育基本法の改定(平成18年)
- 教育三法の改定(平成19年～)
- 学習指導要領の改訂「開かれた教育課程」

社会的背景

- 経済的豊かさの格差、家庭や地域の教育力の低下
- 子どもの基本的な生活習慣の乱れ
- いじめ、不登校、問題行動の増加

手だて① 人権感覚を磨く

生徒の人権感覚

- ・パラリンピアンとの交流
- ・人権教育の充実



保護者等の人権感覚

- ・規範意識の育成など情報提供
- ・東いすバスケット講演会など



教職員の人権感覚

- ・人権教育研修会
- ・開かれた学校づくり協議会との懇談
- ・人権教育プログラムの活用



手だて② 環境づくり

明るく温かい環境

- ・きれいな校舎づくりを推進
- ・元気な挨拶の推進



活力ある学びの環境

- ・アスリート等との交流
- ・部活動の推進



いじめを許さない環境

- ・規律を守る機運づくり
- ・いじめ目安箱の設置(校長室前の情報コーナー)



手だて③ 心の教育の充実

道徳科の充実

- ・身近で実践的なテーマ
- ・考え、討論



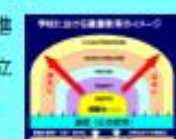
体験的な学びの充実

- ・地域清掃(生徒会主催)
- ・魚沼、鎌倉、京都・奈良
- ・プロ選手との交流など



心身の健康の推進

- ・健康教育の推進
- ・生活習慣の確立
- ・家庭との連携



手だて④ 主体性の涵養

自主的な生徒会の取組

- ・いじめの理解(刑法等との関係等)
- ・各クラスにおける協議といじめ防止標語の作成



主体性を育む行事等の運営

- ・生徒総会
- ・運動会や文化祭



学び合いの推進

- ・学級委員会での取組
- ・学活等での取組



学び合い活動

手だて⑤ 生活習慣の確立

早寝・早起き・朝ごはん

- ・正しい生活リズム(基本的な生活習慣)
- ・学習習慣の確立
- ・運動習慣の確立



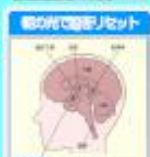
食育の推進

- ・給食の充実
- ・栄養士と連携した授業の実施
- ・家庭との連携



朝日と元気

- ・朝日を浴びること
脳がリセットされ活力ある一日(心も豊か)



体力を高め自らの生活を豊かにする「活力ある生徒の育成」の取組

生徒像と体力的な課題

【目指す生徒像】

「**磨く**（自己のよさを知り向上する）」「**拓く**（新たなこと等に挑戦する）」「**思いやる**（自他を大切にする）」

【体力的な課題】

- ・ 運動・スポーツを好んで行う生徒を増やすこと
- ・ 「持久力」「投力」「握力」を高めること
- ・ 基本的な生活習慣等を確立すること
- ・ バランスよい食事と食習慣を確立すること
- ・ 積極的に家での手伝いや社会貢献を行うこと
- ・ 運動遊びや手伝いを含め一日の身体活動量を増やすこと

体力向上の推進

【目標とする視点】

- ・ 豊かな生活を送る活力ある生徒を育成する。
- ・ 体力調査結果を全国平均まで引き上げる。

【推進の方向性】

学校が拠点となり、家庭や地域と連携して、次の4つの視点を柱として具体的な取組を推進する。

- 1 体育学習等の改善・充実
- 2 運動・スポーツの推進
- 3 生活・運動習慣の確立
- 4 意識向上と態度の育成



生徒や保護者について

【生徒の実態】

- ・ 全体として、挨拶がしっかりでき、礼儀やマナーが良い。
- ・ 「持久走」「投力」「握力」が平均的に低いである。
- ・ 肥満傾向の生徒が多い（特に第1学年男子14.5%）。
- ・ 進んで運動する生徒とそうでない生徒の二極化である。
- ・ ゲームやスマホ等に時間を使い、運動遊びが少ない。

【保護者等の思い】

- ・ 健康であれば学力向上を優先に考える傾向がある。
- ・ 部活動などより高いレベルで活躍してほしいと願う保護者や地域住民も多い。

体育学習等の改善・充実



育成を目指す力と
主体的・対話的で深い学び



目標の明確化（長距離走）



体力向上早見表



投げ方の研究

運動・スポーツの推進



運動会の入場



校内での表彰、全国大会出場（走高跳）



給水ボランティア



パラリンピアンとの交流

生活・運動習慣の確立



元気に登校



昼休みの運動遊び



メンタルトレーニング講座



家庭科での食育



スポーツと食事の授業

意識向上と態度の育成



オリ・パラルームの設置



給食だより



ほけんだより



校長室だより



保健委員会掲示



ポスター

平成30年度の成果

豊かな人間性 しっかり挨拶 **95.7%**

授業 学校での学習に努力した **84.9%**

学校行事 頑張って取り組んだ **95.0%**

部活動 積極的に取り組んだ **90.6%**

その他(個性を発揮) **優秀賞、感謝状等**
税の作文、給食メニュー、書道、社会貢献 等

平成30年度の学校評価と平成31年度の方針について（概要）

平成31年1月22日

足立区立第九中学校

本年度の重点方針と成果

学校教育目標（目指す教育）（教員の自己評価）

- 目指す学校像 (81.5%) 肯定的
文武両道、人格教育の推進 組織力の強化
- 目指す生徒像 (74.1%) 肯定的
「磨く」「伸ばす」「思いやる」
- 目指す教師像 (77.8%) 肯定的
使命感と責任感、組織力、やさしく厳しい指導

教育の質の向上（目指す成果）

- 学力向上 [本年度の成果等]
学校での学習で努力80.0%以上 (84.9%)
家庭学習1時間以上70.0%以上 (50.8%) ※昨年度の達成率64.9%
通達率65.0%以上を目指す (55.6%) ※-0.2ポイント
- 健全育成 昨年度比 九中：-0.3ポイント
学校生活満足度80.0%以上 (80.0%)
部活動を頑張った90.0%以上 (90.0%)
学校行事を頑張った90.0%以上 (90.0%)
- 小中一貫教育の視点に立った教育の推進
年6回以上の協議会等による授業改善 (年8回、まもなく完成)
児童・生徒の交流や円滑な連携 (交流や体験の実施)
体力向上の取組の充実 (全国平均を超えた)
- スーパーアクティブスクール（都教育委員会指定校）
4つの視点で3年間研究、1/23 研究発表会の実施

平成30年度の調査結果の分析と、改善・充実の方向性

【生徒による自己診断】

調査結果（肯定的に回答した割合：数値は%） 12月10～14日実施

項目	全体	1年	2年	3年
学校生活に満足していますか。	89.6	80.9	89.9	94.7
挨拶はしっかりできていますか。	95.7	95.6	95.6	95.9
学校での学習に努力していますか。	84.9	86.7	82.6	84.7
運動会では頑張りましたか。	96.0	96.2	95.0	97.0
文化祭では頑張りましたか。	94.0	90.4	96.3	95.2
部活動等では頑張りましたか。	90.6	91.9	90.6	89.3
人のためになることをしましたか。	84.4	84.9	81.1	87.1
運動やスポーツに関心をもちましたか。	96.0	90.0	79.9	88.0
体力は高まってきたと思いますか。	83.3	85.6	77.7	86.9
家庭学習を1時間以上やっていますか。	56.8	60.0	39.6	69.5
いじめをしないさせないようにしていますか。	89.9	91.1	88.1	90.6
自分には良いところがあると思いますか。	78.0	75.2	73.8	85.1

- 学校生活に満足しており、学年が上がるにつれて数値が高くなっている。特に、挨拶や学校行事、部活動は、第九中学校としての誇れる特色である。
- 約85%の生徒が、学校での学習に努力している。しかしながら、家庭学習については60%程度であり、十分定着していないことがわかる。
- 体力向上の実感や運動・スポーツへの関心をもつ生徒が80%を超えている。
- 自己肯定感については、第3学年で85.1%と高い数値になっている。

【教職員による自己診断】

調査結果（教員の割合、A：とても良い・とても当てはまる、B：よい・当てはまる）

項目	A+B	A	B
「磨く」生徒の育成	81.5	25.9	55.6
「伸ばす」生徒の育成	74.1	22.2	51.9
「思いやる」生徒の育成	77.8	22.2	55.6
使命感と責任感をもった教師	81.5	29.6	51.9
組織で職務に当たる教師	62.9	22.2	40.7
生徒に寄り添い優しく厳しく指導する教師	77.8	14.8	63.0
基礎学力の定着の指導	66.7	11.1	55.6
意欲を高める学習活動の指導	74.1	14.8	59.3
学校行事における主体的な運営の指導	81.5	29.6	51.9
部活動への積極的な参加の指導	74.0	33.3	40.7
小中交流と社会貢献活動の指導	70.4	7.4	63.0
体力向上と活力ある生活の推進について	81.5	22.2	59.3

- 本年度から4件法の調査に変えた（昨年度まではA・B・Cの3件法）。
- 「B」の自己評価が多い（「D」は、ほとんど無かった）。特に、使命感や責任感、学校行事及び体力と活力の指導が高い評価である。
- 生徒指導指針の「磨く」生徒の育成に力を入れる傾向にある。
- 組織としての動き、基礎学力の定着及び小中交流と社会貢献活動の指導の充実が課題である。

関係者評価：教育活動等の視察及び協議、保護者・地域の期待や願い、自己評価等の調査結果など
[開かれた学校づくり協議会で検討し、学校を評価し次年度に向けて提言する。]

平成31年度に向けた課題の整理

- 40を超える小学校から入学があり、九中らしい挨拶・礼儀、規範意識、活力の伝承・発展が課題である。
- 学力向上については、基礎学力の定着の授業づくりを一層進め、生徒が意欲を高め主体的に学習する態度を育成するとともに、保護者との連携を強化し、家庭学習の習慣を確立することが課題である。
- 健全育成については、九中の誇りである挨拶や学校行事の主体的な取組を推進するとともに、いじめ許さない、人のためになることをするなど、豊かな心や自己肯定感を高める指導の充実が課題である。
- 都教育委員会指定校での体力の向上や活力ある生徒の育成の成果を発展させることが課題である。
- 義務教育9年間の小中一貫教育の視点から、オリンピック・パラリンピック2020東京大会を見据え、学力・体力・豊かな心を目指し、保護者・地域との連携を強化して、レガシーを意識した教育の充実が課題である。

平成31年度教育計画の重点

- 1 学力向上：基礎学力の定着、主体的に学ぶ力の育成、個に応じた指導の充実、コンテストや補充の強化、家庭学習の充実 等
- 2 健全育成：挨拶と規範意識の向上、学校行事等での主体的な態度の育成、部活動の充実、いじめを許さない社会づくり 等
- 3 体力向上：活力ある生徒の育成、体力に関する意識向上、オリンピック・パラリンピック教育の推進 等
- 4 連携強化：小中一貫教育の視点に立った体系化した指導の推進、社会貢献活動の推進、学校・家庭・地域の連携強化 等

第九中の目指す学校像

文武両道で

素敵な生徒を育成する

「磨く」 努力する 高める

「挑む」 自己開発 新たな自分

「思いやる」 関わり 豊かな心

足立区立第九中学校の教育

磨く

自分自身のよさを見だし、向上していく

挑む

できないことや新しいこと等に立ち向かっていく

思いやる

自他の違いを認め、尊重する心を育む

学力向上

豊かな心の育成

体力向上

小中連携

指導体制の整備

心身ともに健康で、
粘り強く努力し、
自ら未来を切り拓く力をもった

**次代の
形成者**

平成31年度 第九中学校の学校経営計画について(概要)

学校教育目標

人間尊重の精神を基盤に据え自ら学ぶ意欲をもち、社会の変化に主体的に対応し、国際社会で活躍できる知・徳・体の調和のとれた人間性豊かな生徒を育成する。

生徒行動指針(校訓)

磨く

自分自身のよさを見だし、向上していく。

挑む

できないことや新しいこと等に立ち向かっていく。

思いやる

自他の違いを認め、尊重する心を育む。

教職員指導指針

「やさしく厳しく指導する」

生徒がわかるまで、できるまで指導する。

「組織で職務に当たる」

報告・連絡・相談を密にし、組織で仕事を推進する。

基本的な考え方

【学校経営の3つの柱】

- 学力向上
- 健全育成
- 体力向上

小中一貫教育による
活力ある子どもの育成

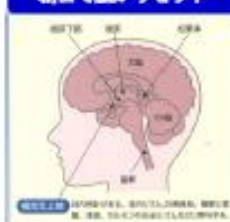
- 義務教育の最終段階として自立させる指導
生徒が、自らを律し、活力ある行動により、自らを磨き高め、自分にあった適切な進路を選択する力の育成が必要です。
- わかる授業・できる授業づくりと家庭との連携強化
学校と家庭が一体となって、生徒が自己開発できるように、挑む態度を育成する必要がある。
- 発達段階に合った指導の充実
小中一貫教育の視点に立った段階的な指導が必要である。

生活習慣・学習習慣を確立することが課題

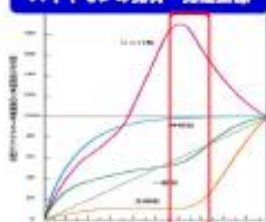
家で、学校の宿題をやっていますか



朝日で脳がリセット



スキヤムの発達・発達曲線



指導の重点と主な取組「活力ある生徒の育成」

指導の重点

主な取組内容

学力向上

基礎学力の定着と思考力・判断力・表現力を育成し主体性と国際感覚をもった人材を育成する。

個に応じた指導、主体的に学ぶ態度の育成、学習コンテンツ、学習カウンセリング、ESL(エクストラ・サブリメント・レッスン)、夏季補習教室やサマースクール、関係機関との連携、土曜スクールや各種検定の推進 など

豊かな心の育成

思いやりの心を育てるとともに、自治の力を身に付けさせ、自己有用感や自尊感情を高める

挨拶や礼儀・マナー指導の推進、道徳教育の充実、人権教育の推進、学校行事等における生徒の主体的な取組、自治活動の充実、社会貢献活動の推進 など

体力向上

全ての活動の源である体力の理解を深め、生涯にわたって健康で豊かな生活を送る基礎を育む。

部活動の推進、生活習慣や運動習慣の確立、食育の推進、保健体育等の授業改善、健康教育の推進、東京都教育委員会スーパーアクティブスクールの成果の普及 など

小中一貫教育の視点に立った指導の充実

義務教育9年間で体系的・系統的な指導を行い、次代を担う活力ある子どもを育成する。

系統性を踏まえた授業や生活指導の充実、小学生の中学校における授業や部活動等の体験、中学生による夏季休業中の小学生補習学習の支援 など

指導体制の充実

学校・家庭・地域がチームとして子どもを育てる仕組みの構築や授業力の向上を図る。

学校・家庭・地域の連携強化、開かれた学校づくり協議会等の充実、若手教員の育成とOJTの充実、HP・各種便り・公開授業、啓発資料等による情報発信 など

令和2年度から体操着をモデルチェンジ



生徒のよい活動

- ・ 安全性と経済性
- ・ 機能性

品質等(主な改良、同じ価格)

- ・ 防風 ・ 保温性 ・ 吸汗速乾
- ・ 耐久性 ・ 軽量素材
- ・ 透け防止 ・ UVカット ・ 低刺激

取り扱い(経済性等)

- ・ 全学年統一:リサイクル、リユース等
- ・ ネームのみ学年色

みんなで素敵な子供に育てよう

生きる力を育もう！

情報

信頼

確かな学力

基礎・基本の定着と、自ら課題を見付け、よりよく問題を解決する資質や能力

豊かな人間性

自らを律しつつ、他人とともに協調し、他人を思いやる心や感動する心など

健やかな体

人間のあらゆる活動源であり、たくましく生きるための基盤である健康や体力



学校で大切にしたいこと

地域で大切にしたいこと

連携

家庭で大切にしたいこと

協働

子供が挨拶するように先生から挨拶するなど声をかけよう

叱るべき時はきちんと叱ろう
(信頼や尊敬)

競争と協力を集団生活の中で学ばせよう

奉仕活動で人に感謝される経験をさせよう

しつけは家庭の責任であることを伝えよう

地域の大人が子供を立派にするための声をかけよう

地域の歴史や文化を大切にする心を育てよう

子供たちと一緒に地域をきれいにしよう

地域の行事に積極的に参加させよう

子育てのコツを地域や近所で教え合おう

挨拶や迷惑をかけたときの謝罪などを教えよう

他の人や先生が叱ってくれたら感謝しよう

子供のよさを見付けて1日に3回は褒めよう

家庭のきまりや行事をつくり取り組もう

自然の美しさや厳しさを肌で感じさせよう

子供のために親がしっかり考え、働いていることを伝えよう

「まとめ」に代えて

はじめて小鳥が飛んだとき

原田 直友

はじめて小鳥が飛んだとき

森は、しんと静まった

木々の小枝が、手をさしのべた

うれしさと不安で、小鳥の小さなむねは、

どきんどきん、大きく鳴っていた

心配しないで。」と、かあさん鳥が、

やさしく肩をだいてやった

さあ、おとび。」と、父さん鳥が

ぽんと一つ肩をたたいた

はじめて小鳥がじょうずに飛んだとき

森ははく手かつさいした